

JA栃木青年部連盟 JAユースセミナーを開催 一次世代にかっこいい農業を伝えていくにはー

JA栃木青年部連盟は7月11日(月)に、JAユースセミナーを開催し、県内の青年部盟友約90名が出席しました。

主催者あいさつで、富貴澤委員長は「これからの農業のかたちを勉強する機会を作らせていただいた。次世代・未来のこどもたちに農業を繋ぐためには、かっこいい農業を伝えていく方法もあるのではないか。現在進行形でかっこいい農業を追求している宮治さんから何か1つでも気づきを持ち帰って欲しい」と盟友に呼びかけました。



【富貴澤委員長】

研修では、NPO法人農家のこせがれネットワークの代表理事宮治勇輔氏を招き、「一次産業をカッコよくて・感動があって・稼げる3K産業に。」をテーマに講演いただきました。(株)みやじ豚の在庫をもたないビジネスモデルやBBQイベント等の広報活動を通じた営業・販売戦略、家族経営における事業継承について学びました。

また、宮治氏は「農家のこせがれネットワーク」が行っている、「都心に住む農家のこせがれの帰農支援の取組」を紹介し、帰農した際には早い段階で事業承継を行うことが家族との連携に繋がるポイントであり、相続とは違っていかに早く主導権を握るかが重要であると訴えました。

また、宮治氏は「農家のこせがれネットワーク」が行っている、「都心に住む農家のこせがれの帰農支援の取組」を紹介し、帰農した際には早い段階で事業承継を行うことが家族との連携に繋がるポイントであり、相続とは違っていかに早く主導権を握るかが重要であると訴えました。

参加した盟友からは「自分の経営にとって刺激となる講演だった」「もっと話を聞きたかった」等の声が多く寄せられ、充実した研修会となりました。



【宮治 勇輔氏】



【セミナーの様子】

鉄コーティング湛水直播栽培の現状について

－農作業の省力・軽労化に向けて－

7月13日(水)にJAうつのみやとJAしおのや管内において、鉄コーティング湛水直播栽培を行っている圃場の現地検討会を実施し、JA、全農とちぎ、県農政部、株式会社クボタ、担い手サポートセンターの担当者が参加しました。

鉄コーティング湛水直播栽培とは、種もみを鉄粉等でコーティングし、水田に直接播種する技術です。移植栽培に比べ育苗作業・苗運搬が不要であり、省力・軽労化が期待されていることから推進を行っています。県内でも、平成27年の実施面積334haから平成28年は473haに拡大し、そのうち系統利用は71haから207haへと大幅に拡大しました(クボタ調べ)。

この栽培方法には大きく2つのポイントがあります。1つ目は、播種後の水管理です。湛水直播では播種と同時に除草剤を散布するため、播種終了後は圃場表面が見えない程度に入水し、除草剤の拡散を図ります。2つ目は、病害虫の防除です。直播栽培では箱処理剤を使用しないため、播種後に病害虫の被害が発生する恐れがある場合は、殺虫剤・殺菌剤を適期散布する必要があります(今年から播種時に土中直下に殺虫殺菌剤を施用できる機械と薬剤が販売されました)。

現地検討会では上記のポイントをふまえ、病害虫や雑草の発生状況に注意しながら生育を確認しました。圃場によっては、いもち病やクログワイ等の雑草が見受けられましたが、深刻な状況ではなく、全体的に生育は良好でした。しかし、葉色が薄い圃場や茎数が足りない株が見られた圃場もあり、出芽後の生育管理について課題を残しました。

担い手サポートセンターでは、省力・低コスト技術として高密度播種や直播栽培を提案しており、農業者の所得増大に向けて今後も推進を行うこととしています。



【JAうつのみや管内の圃場】



【JAしおのや管内の圃場】

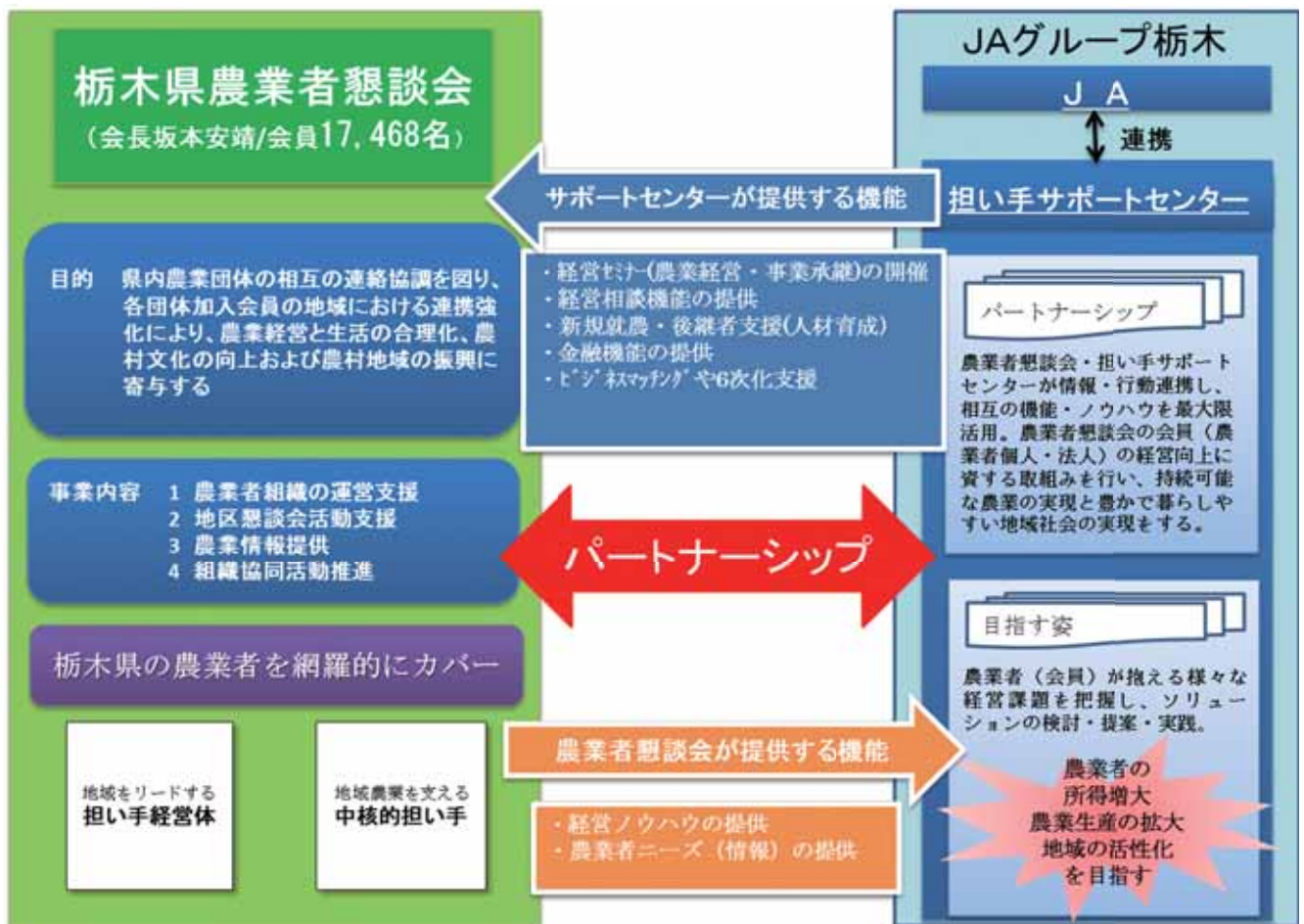
JA栃木中央会と栃木県農業者懇談会が連携に関する覚書を締結!!

—お互いの機能や情報、ノウハウを共有し農業者の所得増大を目指す—

7月1日(金)に、JA栃木中央会と栃木県農業者懇談会は、お互いの機能や情報、ノウハウを活かして農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化を目指し、連携に関する覚書を締結しました。

調印式には、栃木県農業者懇談会、JA、関係機関等約70名が出席し、高橋会長は、「農業者の期待にしっかり応え、JAがより一層農業者にとって必要な存在となるようあらゆる努力をしたい」と挨拶しました。

＜JAグループ栃木と栃木県農業者懇談会の連携に関するイメージ＞



(写真左から)

栃木県農業者懇談会 坂本会長
県経営技術課(立会人) 植木課長
JA栃木中央会 高橋会長

コンプライアンス・オフィサー研修会を開催

7月14日(木)に「コンプライアンス・オフィサー研修会」を開催し、JA・連合会の役職員約300名が参加しました。本研修会は、不祥事未然防止に向けた職場風土の醸成を目的に、毎年開催しています。

研修会では、響法律事務所の瀬戸祐典弁護士が「不祥事件防止と個人情報の漏洩防止」について講演を行い、不祥事件の実例を交えて、その対応策等について説明しました。

主な内容は以下の通りです。

- ① 「不祥事件は、必ず発生するものである」という認識が必要である。前年度、不祥事件が発生しなかったからといって安心してはいけない。
- ② 不正は「動機」・「機会」・「正当化」の3要素が全て揃ったときに起こる。対応策として、「問題を独りで抱え込ませない(=動機の除去・軽減)」「すぐに発覚すると認識させる(=機会の除去・最小化)」「不祥事件は割が合わない」と職員に認識させる(コンプライアンス意識の向上)」といった態勢整備が重要となる。
- ③ 個人情報の漏洩・紛失時の対応として、隠蔽は絶対にダメ。「あるべきところに顧客情報がない」時点で事故と認識すること。「探しても顧客情報が発見されない」時点で事故と認識するのは遅い。

今回の研修をJA内各部署で活かし、不祥事ゼロに向けコンプライアンス・プログラムを実施願います。



【講演する瀬戸弁護士】

法定電気点検実施に伴う オンライン運用時間の変更について

JA栃木電算センターの電気設備に関する法定電気点検（年1回実施）を、9月18日（日）夜間～19日（月）早朝に実施します。

これに伴い、一部システムのオンライン運用時間を下記の通り変更させていただきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

システム名	9月18日（日）	9月19日（月） （敬老の日）	（参考）通常運用時間
JA購買システム	8:00～ <u>18:00</u>	<u>9:00</u> ～21:00	8:00～21:00
資産査定支援システム	8:00～ <u>18:00</u>	<u>9:00</u> ～21:00	8:00～21:00
農業簿記記帳代行システム	8:00～ <u>18:00</u>	<u>9:00</u> ～21:00	8:00～21:00
全国総合ポイント接続システム	8:00～ <u>18:00</u>	<u>9:00</u> ～22:00	8:00～22:00

なお、上記以外のシステムについては、休日・祝日が非稼働であるため変更はありません。

また、ATMについては、休日・祝日運用時間（9:00～17:00）と電気点検の実施時間帯とが重ならないため、通常どおりの運用時間となります。

教育センターレポート

—非常勤役員研修会（前期）を開催—

非常勤役員研修会（前期）を7月7日(木)と15日(金)の2班に分けて開催し、10JAと1専門農協の非常勤役員266名が参加しました。この研修会は農業・JAをめぐる情勢および課題等について研修し、役員としての資質向上をはかることを目的としています。

研修では、はじめに「JAグループ栃木担い手サポートセンターの取り組み」と「平成27年度JA経営の現況と協同組合の特質」について学びました。その後、岡山大学大学院の小松泰信教授から「JA改革のねらいとJAの進むべき道—農業所得増大と地域の活性化をめざして—」と題し、講演をいただきました。

小松氏は、「JAは、一般企業・グローバル企業と異なり、農村社会に根付いている（着土）ことに特徴があり、このことは今後JA改革を進めるうえでも大切にすべきこと。これをベースに、支店は地域に根ざした協同活動を、また楽しく学べるような組合員組織づくりをすべき。また、農業所得の増大に向け、産地の強みを徹底強化し、販売部門の充実（多様な販売チャネルへの挑戦、農商工連携など）をはかってほしい」と話しました。

参加者からは、「これからの組合員のあり方や支店の役割の大切さについて考えさせられた」、「JAの組織運営の原点を再確認できた」等の感想が寄せられました。

今回の研修を参考に、役員の役割を遂行し、JAの自己改革を進めていただければと思います。



【講演する小松教授】

－JAグループ栃木職員統一採用試験（短大・大卒）を実施－

平成29年度JAグループ栃木職員統一採用試験を7月4日（月）に実施しました。10JA、JAグリーンとちぎ、およびJA中央会が参加し、県内3会場で計252人の短大生・大学生が受験しました。

この試験は、本会が作成した筆記試験（70分）と、各団体がテーマを設定した小論文（70分）からなります。また、希望した団体は受験者の性格や行動傾向を判定する適性検査も行いました。各団体では、今回の試験結果を踏まえて面接等を行い、内定者を決定していくことになります。なお、高校卒の統一採用試験は、9月17日（木）にJA栃木教育センターで実施する予定です。



J A 教育センター主催の8月・9月の研修会等の開催予定は下記のとおりです。

日 程	研 修 会 名	対 象 者
8月4日・5日	JA中核人材育成研修会⑫⑬	将来の幹部職員候補者
8月9日	職員資格認証・上級研修会①2班	上級 受験予定者
8月9日	農協監査士養成研修会⑮	28年度農協監査士試験 受験予定者
8月10日	経営担当者セミナー	JA常勤役員
8月18日	JA中核人材育成研修会⑭	将来の幹部職員候補者
8月23日	職員資格認証・中級研修会②1班	中級 受験予定者
8月25日	職員資格認証・特級研修会⑦	特級 受験予定者
8月25日	JA中核人材育成研修会⑮	将来の幹部職員候補者
8月29日	職員資格認証・中級研修会②2班	中級 受験予定者
8月30日	職員資格認証・特級研修会⑧	特級 受験予定者
8月30日	JA中核人材育成研修会⑯	将来の幹部職員候補者
9月1日・2日	新入職員フォロー研修会 1班	新入職員
9月6日・7日	新入職員フォロー研修会 2班	新入職員
9月9日	JA中核人材育成研修会⑰	将来の幹部職員候補者
9月13日・14日	新入職員フォロー研修会 3班	新入職員
9月16日	JA中核人材育成研修会⑱	将来の幹部職員候補者
9月20日	平成29年度JAグループ 栃木職員統一採用試験(高卒)	平成29年3月高校卒業見込者または卒業生
9月23日	職員資格認証・上級研修会②1班	上級 受験予定者
9月27日	JA中核人材育成研修会⑲	将来の幹部職員候補者
9月28日	職員資格認証・上級研修会②2班	上級 受験予定者
9月29日	職員資格認証・中級研修会③1班	中級 受験予定者

※受講申込は、J A 栃木教育センターまで。

(TEL : 028-616-8560 FAX : 028-616-8594 E-mail : kyouiku@tcchu-ja.or.jp)



消費者へ農業理解促進の一環として、下野新聞に毎月1回「ふお-you とちぎJAプラザ」を掲載しています。

ここで、アンケートを実施し、紙面に対する感想が寄せられていますので、一部ご紹介します。今後の事業取り組みの参考にして下さい。

～5月18日掲載 テーマ 本県ブランドの「とちぎ和牛」～

【とちぎ和牛について】

- ・とちぎ和牛は認定ブランド名として厳しい基準をクリアした枝肉とのこと。もっともっとアピールしてほしいです。
- ・とちぎ和牛に関する記事にとっても感心しました。牛を飼養されている方々が本当に色々と考え、努力されて「とちぎ和牛」のブランド化を図り、また、それにあぐらをかくことなく、より良い品質にするべく頑張っていることがよく分かりました。今後とも良いお肉を私達に届けていただきたいと思ひますし、私は栃木産にこだわってお肉を選びたいと思ひます。
- ・牛はすべてブランドになるのかと思ひていましたが、基準をクリアしなければ認定されないことを知りました。生産者の努力はすごいですね。
- ・とちぎ和牛のブランドになるまでの生産者の努力がよく分かりました。おいしい肉と衛生は切り離せません。食品の生産者はとても大変だと思ひました。大事に味わいたいです。

【JAの取り組みについて】

- ・毎月18日は『三食ごはんの日』を初めて知りました。今朝はパンでしたが、来月から「三食ごはん」やってみようと思ひます。
- ・毎回ためになる事、知らない事を教えてもらうなど参考になります。また、今回はアスパラ農家の方でしたが、このように若い方が若い時からご苦労された食物を私達が食べられるありがたさを感じます。レシピも楽しみです。これからも期待しています。
- ・農業が衰退しているといわれている中、頑張ってお農業に取り組んでいる方達の記事を目にすると読んでる側も元気をもらえます。
- ・皆の力で、安心、安全、新鮮でおいしい物を作るという気持ちが紙面からも伝わってきて、これからも栃木県産の物をできるだけ購入し、食卓においしいの音が聞かれるように調理していきたいと思ひています。頑張ってください。

理事会だより

平成28年7月11日(月)に第4回理事会が開催されました。

(協議事項)

- (1) 生産資材価格調査結果の公表等について(案)
公表等にあたっての基本的な考え方が承認されました。

(報告事項)

- (1) JA介護保険事業診断実施要領について
- (2) 平成27年度JA介護保険事業の事業別収支状況について
- (3) 産地パワーアップ事業について
- (4) 30年産を目途とする生産調整の見直しに向けたJAグループの考え方について
- (5) 農政・JA自己改革をめぐる情勢とJAグループの今後の取り組みのすすめ方について
- (6) 平成28年「ちゃぐりん」8月号普及活用運動結果について
- (7) JAバンク相談所「苦情等の受付対応実績(28年4月～6月)」について
- (8) 平成28年度第1四半期「JA栃木ヘルプライン」受付対応実績について
- (9) 下野新聞JAプラザふぉーyou読者アンケート結果について

平成28年9月主要行事予定表

	総務企画部	担い手サポートセンター	農業くらし推進部		経営指導部	電算企画運用部	電算開発部	教育部	全国監査機構 栃木県監査部
			農業ライン	くらしライン					
1 木				シニアオーブンゴルフ				新入職員フォロー研修会(1班)	
2 金	各連経営会議			女性理事交流会					
3 土									
4 日									
5 月									
6 火				介護関係事業職訓会(7つのみ)				新入職員フォロー研修会(2班)	
7 水		TACアグリビジネススクール④		女性会リーダー事務局研修会	専務常務会現地研修 FP研修会⑤				監事協議会現地研修
8 木								中核人材育成研修会⑦	
9 金									
10 土									
11 日									
12 月	理事会・運営委員会等								中間審査会
13 火	中央会連合会役員研修			教育文化活動促進セミナー フレイズ交流会実行委員会				新入職員フォロー研修会(3班)	
14 水									なす南期中監査
15 木					人事教育担当部課長会議				
16 金								中核人材育成研修会⑧	かみつが期中監査
17 土									
18 日									
19 月						法定電気点検			
20 火								高卒採用試験	
21 水					FP研修会⑥				
22 木									
23 金								資格認定上級研修会②1班	
24 土									
25 日									
26 月									
27 火								中核人材育成研修会⑩	
28 水								資格認定上級研修会②2班	
29 木								資格認定中級研修会③1班	
30 金									